

## 2 干害

### (1) 生育最盛期

5-6月は分けつ・伸長ともに旺盛なため、この時期に過乾になると特に伸長が抑制され、莖数も少なくなる。節水栽培に努め「イグサシムシガ」の防除の徹底を図る。(病害虫防除の項参照)

### (2) 収穫期

収穫期に干天が続くと立毛のい茎は日中萎凋することがあるので、早刈りするか、走り水程度の灌漑を行なう。

### (3) 苗床

従来からいぐさを栽培している地帯は、畑苗が八月苗より苗の素質・生産力・品質が概して良いので、この育苗が主体である。しかし、畑苗は夏季の干害を受けやすい面がある。夏季乾燥が予想されるときは、6-8月にかけて、水田に株分けして植えつけ、苗の確保を図る。